



## アイデアが溢れる 2 学期に！

校長 神原 由香里

夏休みに入ってすぐに熊本地震、そして、8 月には千葉豪雨…自然現象には抗うことが難しく、自然の威力により、あたりまえの毎日が奪われることを目の当たりにした夏でした。そんな中、25 日、大きな事故もなく、全員揃ってあたりまえに始業式を迎えられたことを本当に嬉しく思いました。子どもたちにも、あたりまえにみんなが揃って 2 学期を迎えられた若松小は「**最高に幸せ**」、つまり「**最幸**」であり、またこのメンバーで揃ったことは「**最強**」である、と話しました。さあ、そんな「最幸」で「最強」な若松小の子どもたち…どんな 2 学期にしていくなか、楽しみで仕方ありません。

### 夏休みの合い言葉

### アイデアが溢れる夏

1 学期の終業式で、この夏休みの合い言葉を伝えました。子どもたちだけでなく、自分も「アイデア」を出したり、感じたりする刺激的な夏にすることも大切だ、と考え、始業式では、私がこの夏一番「アイデア」を感じたポスターの話をしました。それは、徳島県のラーメン屋に貼られていた 2 枚のポスターでした！徳島と言えば阿波踊り…その 2026 年公式ポスターに書かれていた言葉…



※阿波踊り公式 HP より

### 「あほうを、極める」「あほうで、生きる」

この言葉にビビッときて思わず写真を撮った理由を阿波踊りの唄に合わせて紹介しました。

『踊る阿呆に 見る阿呆

同じ阿呆なら 踊らにゃ 損々』♪♪

本来、アホという言葉は阿呆から来たものらしいのですが、この阿波踊りの「あほう」は明らかに日頃使っている意味とは違うと思います。

アホ = 愚かな人

阿呆 (あほう) = 夢中になれる人

つまり・・・

あほうで、生きる

見ているだけの毎日より、  
夢中になれる「あほう」で  
生きよう！

人の目にとられず、  
自分が心から好きなものに  
夢中になって生きる！

2 学期は行事が目白押しです。6 年生は今週修学旅行に行きます。5 年生はやませみ、1～4 年生は遠足、そして、全校での運動会…そのほかにも風っ子展あり、発表朝会あり…とにかくたくさんの行事がある中で、常にしっかり目標を設定し、夢中になってそれに向かって頑張っていってほしいと思います。1 学期に培った「自分から」「あたりまえのことをあたりまえに」をベースに、溢れる「アイデア」でどこまで「アホウ」(夢中)になれるか…子どもたちの成長が楽しみです！



2学期のイメージポスターを制作してみました。アイデアが溢れる感じと、アホウ（夢中）になってはじける感じをポスターで表現してみました。もちろん、キャラクターは、「若ぶーたん」です。

チャッピーに相談しながら、私のイメージを伝え、ここまでの仕上がりになりました。この夏、チャッピーとも仲良くなり、彼？彼女？の賢さには脱帽でした。

相模原は、いろいろな可能性を秘めた都市。

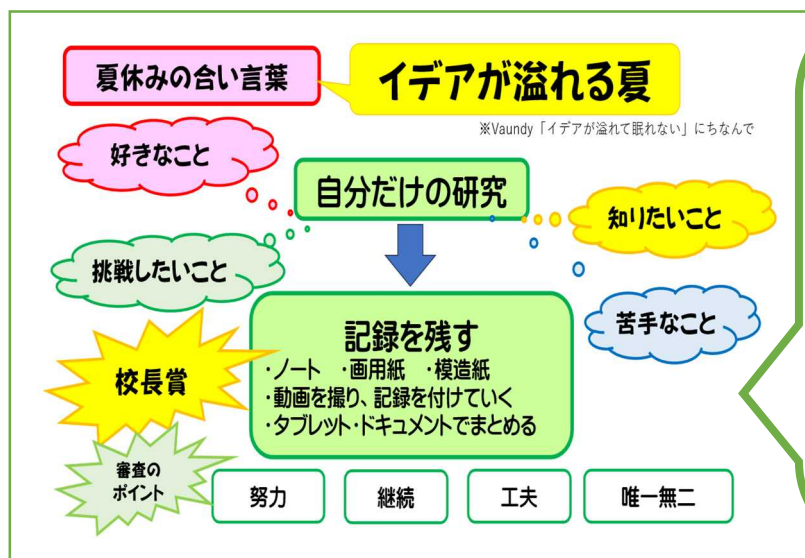
宇宙・ロボットの街

リニアが通る街

自然豊かな街

など、自慢できるものはたくさんあります。この素敵な相模原で、自分たちのアイデアを溢れさせながら、何か夢中になる物を探し、そこに向かって一生懸命頑張れる子どもたちに育てて欲しいと願っています。きっと学校での学びがそのきっかけになると思います。

## アイデアが溢れた夏休み・・・校長賞の行方は？



今年から、夏休みの課題はスクリーンで配信され、保護者に応募をしてもらうものが増えました。職員にとっては、働き方改革になるのでありがたいのですが、実は子どもたちが夏休みにどんな作品を作り、どれだけ頑張ったかは把握しにくくなります。これはもったいない！というわけで、校長賞を設け、そこにエントリーできるようにしてみました！

自分が好きなことや挑戦したいこと、あるいは、知りたいことや苦手なことなど「自分だけの研究」に取り組んだ人は、校長賞にエントリーできます。ただ、夏休みはそもそも普段できない経験をたくさんしてもらうのがいいな、と思っているので、宿題はいつも最小限がいいと思っていた派です。宿題の他に、校長賞を狙ってさらに何かに取り組むなんて…そんなすごい子がどのくらいいるんだろうか、と思っていました。どの学年も人数的にはそんなにたくさんはいませんが、そこに向かって取り組んでくれた子がただで嬉しくなりました！そして、「アイデア」が溢れている作品もたくさんあり、どの作品を校長賞にするか、すでに悩んでおります。審査のポイントに則って、厳選に選ばせていただきます。その結果などは、また次号でお知らせします。